

フクシマとナリタの怒りは一つ 国家と資本による犯罪許すな！

38人を今すぐ釈放しろ！！

●農民殺しの反動判決 抗議したら大量逮捕！

みなさん、ぜひ右の新聞記事をご覧ください。福島原発事故によって大量の放射性物質がばらまかれ子どもたちが大量被爆している問題で、23日に福島の保護者が大挙上京し、被曝線量を殺人的レベルにまで引き上げた文部科学省に対して腹の底からの怒りを叩きつけました。「国家による殺人を許すな！」、これが全参加者の思いです。

これとまったく同じ事態が、5月20日にここ東京高裁でも起こりました。成田空港反対闘争において、三里塚芝山連合空港反対同盟の所有する天神峰現地闘争本部の建物を一方的に破壊してよいという超反動判決を井上繁規裁判長は下しました。重要証人への反証もなし、実地調査もなしという、まさに初めから「結論ありき」のデタラメ判決です。「国策」のためであれば、裁判の原則をねじ曲げようが農民が農地を奪われて殺されようがお構いなしということです。

しかも、東京高裁は当然にもこの判決に対して抗議の声あげた反対同盟農民をはじめ50人を、「不退去罪」に

校庭線量上限 撤回を



文科省を訪れ、放射線量基準値の見直しを要請する福島の小中学校の保護者ら＝23日午後

「子どもを放射線から守りたい。二〇〇〇を盾にして学校も県も何も申しない。このままでは子どもの健康を害さない」「福島県内で子どもを持つ父母ら約七十人がバス一台に分乗して文科省に到着した。しかし、訴えを最も聞いてほしい大臣は面会しなかった。父母らは省にも入れてもらえない「門前払い」の状況で、時折冷たい雨が降る中、庁舎前に座り込み、応対に出た渡辺格科学技術・学術政策局長に代わる代わる「二〇〇〇の撤回を求めたい」と訴えを求めた。父母らのまとも役の市民団体「子どもたちを放射線から守る福島ネットワーク」による文科省を訪れ、放射線量基準値の見直しを要請する福島の小中学校の保護者ら＝23日午後

大臣面会せず 文科省「1ミリシグに努力」

福島第一原発事故を「設定したのが高すぎる。定の引き下げを求めて」と訴えた。事前に大臣面会を拒否し、「子どもを守るために被曝線量の求めが断られ、同省を年内に入れなかった」と訴えた。事前に大臣面会を拒否し、「子どもを守るために被曝線量の求めが断られ、同省を年内に入れなかった」と訴えた。

「20ミリシグ」高い 福島の保護者直談判

た父母らには、渡辺格科学技術・学術政策局長が応じた。文科省前には大勢の支援者も集まった。「二〇〇〇を撤回！」「未来ある福島の子供たちを本気で守って」など

5月24日付『東京新聞』朝刊



東京高裁に怒りを叩きつけた5月20日の霞ヶ関デモ

よって警視庁公安部に売り渡し逮捕させました。ふざけるな！ 農民の生きる権利を奪い「国家＝国益」を最優先させる裁判所など怒りで燃やし尽くされて当然だ！

警視庁公安部はこのでっち上げ逮捕のあまりのデタラメ性の前に、22日に12人を釈放せざるをえませんでした。が、いまだ獄中には38人の仲間が捕らえられています。あらゆる怒りを集中し、ただちに38人全員を取り戻そう。

●「諸悪の根源」=裁判所を粉碎しよう

みなさんに訴えたい。「法の名のもとの平等」や「憲法の



全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

国策＝成田空港建設を実力で阻み続ける三里塚闘争
(今年3月27日の現地・全国総決起集会)



番人」などと唱えながら、ひたすら時の権力と大資本にすり寄っておもねり、労働者民衆の生活と権利を破壊し続けるこの裁判所＝司法権力など、何の存在価値もない！

原発事故を見てください。これまで、全国各地の地裁・高裁そして最高裁が、数多くの原発訴訟において「原発は安全」「事故の心配はない」などという大ウソの判決文を書き連ねてきました。住民側の主張を認めた裁判官などほとんどいません。しかし今、現実に原発は崩壊し放射能で大地と住民を汚染し続けているではないか！ 政府、電力資本、電機資本、官僚、マスコミ、御用学者(大学)などが一体となった「原子カムラ」の重要な一角を裁判所が占め、「原発を守る最後の防波堤」としてお墨付きを与え続けてきたのではないか！ ただの一人でも、原発事故後に、自己がつくった判決文がデタラメであったことを認めて謝罪した裁判官がいるのか！

その同じ裁判所が、農民殺しの判決文を書き、法政大学では「言論・表現の自由」を破壊する法大当局にべったりの判決文を書いて学生を罪に陥れ、労働者のクビを切った大資本の利益を擁護し続けています。もはや裁判所は、大恐慌＝大失業で労働者民衆の怒りがエジプトのように

爆発し、政権打倒＝体制変革にまで上りつめていくことを恐れ、それを未然に押さえつけるためにのみ存在しているにすぎません。徹底的に爆砕あるのみです。

●すべての怒りを6・5国鉄大集会へ！

38人の即時奪還、そしてこの腐りきった社会の変革に向けた方針を提起したい。それは、6月5日に動労千葉(国鉄千葉動力車労働組合)が中心で呼びかける国鉄大集会に結集することです。新自由主義と対決し、職場に闘う労働組合を甦らせること、団結した労働者の闘いのもとにすべての民衆が集い、原発事故＝農民・漁民殺し＝大失業攻撃に反撃し、実力で青年・学生の未来を取り戻していくことです。ともに声をあげ、行動しましょう！

東京地裁と警視庁・公安部は、織田陽介・全学連委員長(左)、斎藤郁真・法大文化連盟委員長(右)ら38人の仲間への不当な勾留をやめ、直ちに釈放せよ！



◆5・29三里塚緊急現地闘争に集まろう！

5月29日(日)13時半～

成田市・三里塚、反対同盟員・市東さん宅南側の
開拓組合道路に集合

◆早期釈放へ救援カンパをお願いします

振込先：郵便振替「00190-0-766112」

口座名「全日本学生自治会総連合」

※必ず通信欄に「三里塚弾圧救援カンパ」とご明記ください。

新自由主義・大失業(震災解雇)と闘う労働組合を甦らせよう

怒りを一つに、国鉄闘争6・5大集会に結集を！

(集会要項)

- 日時 6月5日(日)午後1時 ※正午開場
- 場所 東京・日比谷公会堂(日比谷公園)
- 主催 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

→nationwidemovement@yahoo.co.jp

→http://www.doro-chiba.org/z-undou/z-index.htm

1635人が結集した昨年の6・13国鉄大集会

